



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-7711-0505

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

平成26年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	58,528	0.5	7,958	△7.7	8,410	△4.9	5,454	△8.4
26年3月期第2四半期	58,247	△0.0	8,623	4.7	8,840	0.1	5,953	△16.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 4,076百万円 (△46.7%) 26年3月期第2四半期 7,645百万円 (△3.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	133.71	—
26年3月期第2四半期	145.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	170,607	128,053	75.0	3,141.56
26年3月期	170,919	126,953	74.2	3,098.32

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 127,916百万円 26年3月期 126,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	43.00	—	43.00	86.00
27年3月期	—	44.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	43.00	87.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	3.7	18,400	1.5	19,000	1.2	12,500	1.6	305.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	42,525,000 株	26年3月期	42,525,000 株
27年3月期2Q	1,807,575 株	26年3月期	1,577,025 株
27年3月期2Q	40,791,816 株	26年3月期2Q	40,948,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成26年11月5日(水)に開催予定の第2四半期決算説明会後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などにより、個人消費は厳しい状況で推移いたしました。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や、既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は58,528百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は7,958百万円（同7.7%減）、経常利益は8,410百万円（同4.9%減）、四半期純利益は5,454百万円（同8.4%減）となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりです。

家庭用品製造販売事業

当事業では春に16品目、秋に9品目の合計25品目の新製品を発売いたしました。なかでも男性のシミ対策に着目したスキンケアシリーズ「メンズケシミン」、若い女性向けのかわいい芳香消臭剤「Sawaday PINKPINK（サワデーピンクピンク）」などが売上に貢献しました。

既存品では、医薬品の女性用保健薬「命の母」、衛生雑貨品の額用冷却シート「熱さまシート」、芳香消臭剤のインテリアフレグランス「消臭元 香るStick」や車用芳香消臭剤「クルマの消臭元クリップ」などが好調に推移しました。また東南アジアで販売している医薬品の外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」や衛生雑貨品の額用冷却シート「熱さまシート」も順調に売上を伸ばしました。

その結果、売上高は54,298百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益（経常利益）は7,627百万円（同4.6%減）となりました。営業利益は7,666百万円（同7.0%減）となりました。なお、当事業のうち国際事業部の売上高は4,592百万円（同24.0%増）となりました。

(売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	11,247	21.1	11,609	21.4	361	3.2
口腔衛生品	8,135	15.3	7,849	14.4	△285	△3.5
衛生雑貨品	9,084	17.1	9,898	18.2	813	9.0
芳香・消臭剤	16,320	30.6	16,664	30.7	344	2.1
家庭雑貨品	2,214	4.2	2,315	4.3	101	4.6
食品	3,881	7.3	3,726	6.9	△154	△4.0
カイロ	2,368	4.4	2,234	4.1	△134	△5.7
合計	53,251	100.0	54,298	100.0	1,047	2.0

(注) 1. 売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計1,491百万円、当第2四半期連結累計期間では計1,550百万円となっております。

2. 当第2四半期連結累計期間よりカテゴリーの一部見直しを行いました。その結果、前第2四半期連結累計期間の売上高において、平成25年11月1日付け公表の「平成26年3月期 第2四半期決算短信」に記載のものから衛生雑貨品は482百万円増加し、食品は482百万円減少しております。

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品などの通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあり、特にスキンケア製品が苦戦しました。

その結果、売上高は4,516百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント利益（経常利益）は110百万円（同292.5%増）となりました。営業利益は108百万円（同344.8%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

医療関連事業

当事業の売上高は745百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益（経常利益）は319百万円（同34.5%減）となりました。営業利益は51百万円（同60.5%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

その他事業

上記の3事業をサポートする当事業（運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等）では、各社が独立採算で経営をしているものの、3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は2,630百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益（経常利益）は471百万円（同18.4%減）となりました。営業利益は101百万円（同34.9%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計2,158百万円、当第2四半期連結累計期間では計2,112百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ312百万円減少し、170,607百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（2,974百万円）、投資有価証券の減少（1,131百万円）、商品及び製品の増加（3,301百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,412百万円減少し、42,553百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（1,007百万円）、未払法人税等の減少（538百万円）、支払手形及び買掛金の増加（1,186百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,100百万円増加し、128,053百万円となり、自己資本比率は75.0%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（3,923百万円）、自己株式の増加（1,499百万円）等によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは3,069百万円（前年同四半期は1,651百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8,214百万円、減価償却費が1,225百万円、売上債権の増加額が371百万円、たな卸資産の増加額が3,464百万円、法人税等の支払額が3,497百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは284百万円（前年同四半期は△1,853百万円）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が32,000百万円、定期預金の払戻による収入が33,500百万円、有形固定資産の取得による支出が1,631百万円、有価証券の売却（償還）による収入が500百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△3,315百万円（前年同四半期は△1,919百万円）となりました。これは主に、配当金の支払額が1,760百万円、自己株式の取得による支出が1,499百万円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より174百万円減少し25,724百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日付け公表の「平成26年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。割引率の決定方法についても、割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が149百万円増加し、退職給付に係る負債が207百万円減少し、利益剰余金が229百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,748	48,774
受取手形及び売掛金	34,428	34,595
有価証券	3,703	4,501
商品及び製品	7,515	10,816
仕掛品	559	593
原材料及び貯蔵品	2,457	2,489
繰延税金資産	3,240	3,314
その他	2,016	1,665
貸倒引当金	△56	△56
流動資産合計	105,614	106,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,254	6,274
機械装置及び運搬具(純額)	2,667	2,660
工具、器具及び備品(純額)	1,016	1,166
土地	3,374	3,372
リース資産(純額)	730	638
建設仮勘定	901	1,163
有形固定資産合計	14,945	15,276
無形固定資産		
のれん	3,970	3,601
商標権	187	113
ソフトウェア	924	938
リース資産	16	6
その他	327	408
無形固定資産合計	5,426	5,069
投資その他の資産		
投資有価証券	38,877	37,746
長期貸付金	614	636
繰延税金資産	838	350
投資不動産(純額)	3,059	3,042
退職給付に係る資産	-	191
その他	1,677	1,736
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	44,932	43,567
固定資産合計	65,304	63,913
資産合計	170,919	170,607

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,368	12,554
短期借入金	6	40
未払金	13,053	12,045
リース債務	158	109
未払法人税等	3,639	3,101
未払消費税等	633	753
返品調整引当金	1,501	953
賞与引当金	1,958	1,940
事業整理損失引当金	355	525
資産除去債務	29	19
その他	1,513	1,783
流動負債合計	34,216	33,828
固定負債		
リース債務	609	551
退職給付に係る負債	5,861	5,559
役員退職慰労引当金	24	24
資産除去債務	91	92
その他	3,162	2,496
固定負債合計	9,749	8,724
負債合計	43,965	42,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	118,731	122,655
自己株式	△4,706	△6,206
株主資本合計	121,695	124,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,369	5,063
繰延ヘッジ損益	1,043	536
為替換算調整勘定	△373	△993
退職給付に係る調整累計額	△864	△809
その他の包括利益累計額合計	5,174	3,797
新株予約権	83	137
少数株主持分	0	-
純資産合計	126,953	128,053
負債純資産合計	170,919	170,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	58,247	58,528
売上原価	23,453	23,451
売上総利益	34,793	35,076
販売費及び一般管理費	26,170	27,118
営業利益	8,623	7,958
営業外収益		
受取利息	115	114
受取配当金	175	158
受取ロイヤリティー	242	242
不動産賃貸料	137	141
持分法による投資利益	66	20
為替差益	-	55
その他	88	103
営業外収益合計	825	836
営業外費用		
支払利息	9	11
売上割引	320	311
不動産賃貸原価	35	38
為替差損	228	-
その他	13	22
営業外費用合計	607	383
経常利益	8,840	8,410
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	2	-
関係会社株式売却益	514	-
その他	36	-
特別利益合計	553	0
特別損失		
固定資産除売却損	22	20
減損損失	28	4
製品不良関連損失	19	-
事業整理損失引当金繰入額	-	170
その他	10	0
特別損失合計	80	196
税金等調整前四半期純利益	9,313	8,214
法人税、住民税及び事業税	3,384	2,972
法人税等調整額	△24	△211
法人税等合計	3,359	2,761
少数株主損益調整前四半期純利益	5,953	5,453
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	5,953	5,454

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,953	5,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△310	△306
繰延ヘッジ損益	△16	79
為替換算調整勘定	1,527	△619
退職給付に係る調整額	-	54
持分法適用会社に対する持分相当額	491	△585
その他の包括利益合計	1,692	△1,376
四半期包括利益	7,645	4,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,646	4,077
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,313	8,214
減価償却費	1,254	1,225
のれん償却額	205	220
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	2
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	-	△41
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△92
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2	-
受取利息及び受取配当金	△290	△272
支払利息	9	11
持分法による投資損益 (△は益)	△66	△20
関係会社株式売却損益 (△は益)	△514	-
固定資産除売却損益 (△は益)	22	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,574	△371
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,907	△3,464
仕入債務の増減額 (△は減少)	△336	1,241
未払金の増減額 (△は減少)	△231	△792
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△178	122
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	-	170
その他	△243	109
小計	5,453	6,284
利息及び配当金の受取額	316	293
利息の支払額	△4	△10
法人税等の支払額	△4,113	△3,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,651	3,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,010	△32,000
定期預金の払戻による収入	29,500	33,500
有価証券の売却(償還)による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△1,456	△1,631
有形固定資産の売却による収入	65	5
無形固定資産の取得による支出	△255	△256
投資有価証券の取得による支出	△142	△10
投資その他の資産の取得による支出	△74	△81
投資その他の資産の売却による収入	66	46
短期貸付金の増減額 (△は増加)	-	244
長期貸付けによる支出	△233	△38
長期貸付金の回収による収入	2	2
関係会社株式の売却による収入	1,000	-
その他	△814	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,853	284

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	35
自己株式の取得による支出	△1	△1,499
配当金の支払額	△1,759	△1,760
リース債務の返済による支出	△157	△90
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,919	△3,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	495	△212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,626	△174
現金及び現金同等物の期首残高	22,322	25,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,695	25,724

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式は、当第2四半期連結累計期間において1,499百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において6,206百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,760	5,176	732	57,669	577	58,247	—	58,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,491	—	—	1,491	2,158	3,650	△3,650	—
計	53,251	5,176	732	59,161	2,736	61,897	△3,650	58,247
セグメント利益	7,994	28	488	8,511	577	9,088	△247	8,840

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△247百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	52,748	4,516	745	58,010	517	58,528	—	58,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,550	—	—	1,550	2,112	3,663	△3,663	—
計	54,298	4,516	745	59,561	2,630	62,191	△3,663	58,528
セグメント利益	7,627	110	319	8,057	471	8,528	△118	8,410

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△118百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません